

授業改革と 動き育てる組織づくりの **ススめ** vol.4

第4号で紹介するのは、石狩管内教育推進の重点1の「対話」を重視した授業改革と、ICTを有効活用した授業改革について、児童生徒が課題意識をもてるよう工夫している事例です。

対話を重視した授業改革とICTを有効に活用した授業改革の実践事例

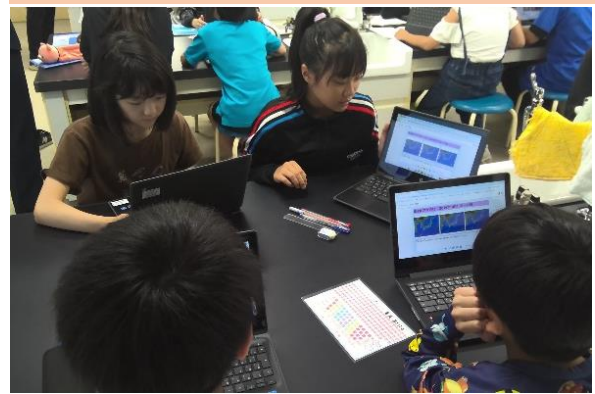
江別市立江別第二小学校 第4学年 算数



多様な考え方ができる問題に取り組み、児童が自分の考えを、1人1台端末に示された図を操作して説明していました。

児童が気付きや見通しをもつ時間を確保することにより、児童が自分の考えと友達のことを比べながら、主体的に学んでいました。

北広島立西の里小学校 第5学年 理科



自分が予想したことと実験結果との違いに着目し、気付いたことについて、ICTを活用して検証していました。

問題解決の過程を重視した学習活動を設定することにより、児童が進んで探究しようとしていました。

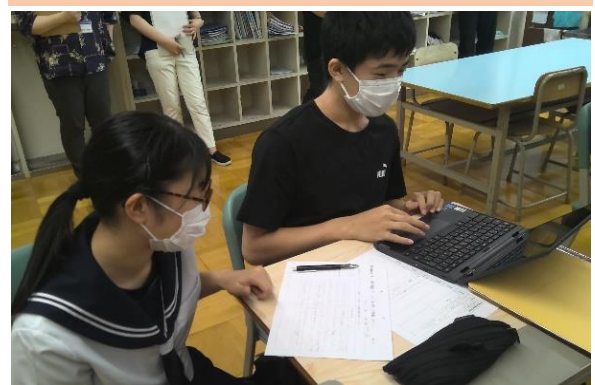
江別市立江陽中学校 第2学年 国語



登場人物の言動について自分の考えをもち、ICTを活用して友達と考えとの共通点を確認するなど、価値交換を図っていました。

単元の導入において、言語活動の目的について生徒と共有することにより、生徒が課題意識をもって言語活動に取り組んでいました。

千歳市立駒里中学校 第3学年 英語



自分たちのグループのスピーチの映像を録画し、映像を参考にして改善点について対話していました。

活動の目的を生徒と共有することにより、対話の視点が明確になり、生徒の対話の質が高まっていました。

【担当から】

児童生徒の課題意識の醸成が、主体的な学びにつながります。子どもが主役の授業の実現に向け、本資料の内容を参考に、各学校における対話を重視した授業改革を進めていきましょう。

(石狩教育局義務教育指導班指導主事 加藤 慎 嗣)